

性の多様性に関するアンケート調査結果

【調査目的】

近年の同性婚訴訟や、令和5年6月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（理解増進法）の施行等を契機として、性的少数者に対する社会的な関心が高まっており、それに伴い、性的少数者の人権について考える機会も多くなっています。

長崎県では「長崎県人権教育・啓発基本計画」に基づき、温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現を目指して様々な人権教育・啓発に取り組んでおり、性的少数者の人権についても同計画の重要課題の一つに位置付け、教育・啓発等の各種施策を進めています。

今般、県政モニターの皆様には性的少数者の人権に関する認識や県の取組みについてご意見を伺うことで、今後の施策等の検討に活用することを目的としています。

【調査期間】

令和8年6月1日(月)～6月29日(月)(29日間)

【調査対象】

ながさきWEB 県政アンケート全モニター428人

【回答状況】

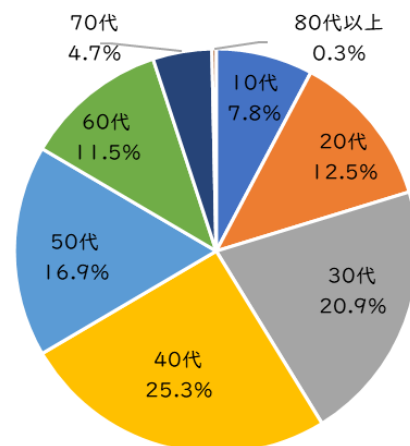
296人(回答率69.2%)

【調査担当課】

長崎県県民生活環境部人権・同和対策課

◆回答者の年齢構成

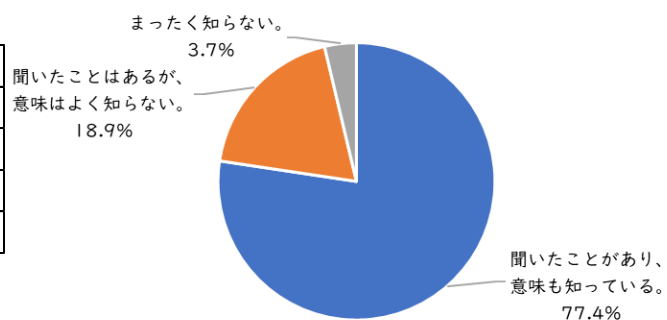
年齢	人数	構成比
10代	23	7.8%
20代	37	12.5%
30代	62	20.9%
40代	75	25.3%
50代	50	16.9%
60代	34	11.5%
70代	14	4.7%
80代以上	1	0.3%
合計	296	100.0%



◆性的少数者（LGBT）に関する次の言葉を聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。

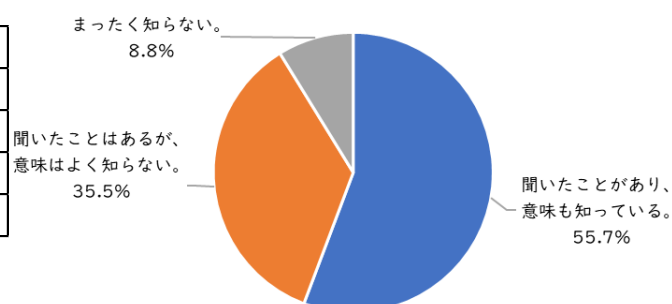
Q1-1.性的少数者（LGBT）

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあります、意味も知っている。	229	77.4%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	56	18.9%
まったく知らない。	11	3.7%
合計	296	100.0%



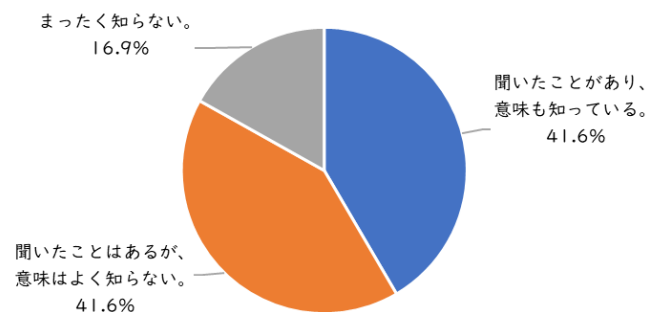
Q1-2.性的指向

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあります、意味も知っている。	165	55.7%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	105	35.5%
まったく知らない。	26	8.8%
合計	296	100.0%



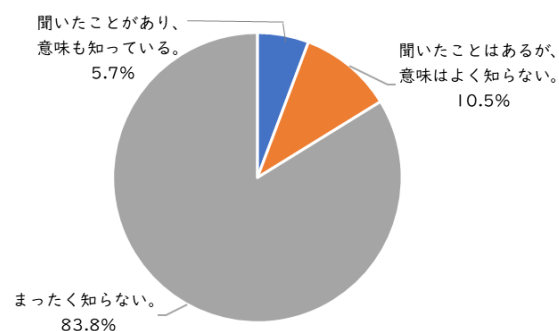
Q1-3.ジェンダーアイデンティティ

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあります、意味も知っている。	123	41.6%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	123	41.6%
まったく知らない。	50	16.9%
合計	296	100.0%



Q1-4.SOGI

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあります、意味も知っている。	17	5.7%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	31	10.5%
まったく知らない。	248	83.8%
合計	296	100.0%



◆次に、性的少数者（LGBT）に関する施策についてお尋ねします。

Q2.性的少数者（LGBT）の人権について、あなた自身が取り組んでいることはありますか。（複数回答可）

選択肢	全体
性のあり方を尊重している	144
積極的に情報収集を行う	24
差別的言動に気を付ける、気づいたら注意する	142
職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につながっていない	8
職場や学校等で学ぶ機会がなく、行動につながっていない（できることがわからない）	69
取組や行動の必要性は感じない	20
その他（自由記載）	14

「職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につながっていない」の主な理由

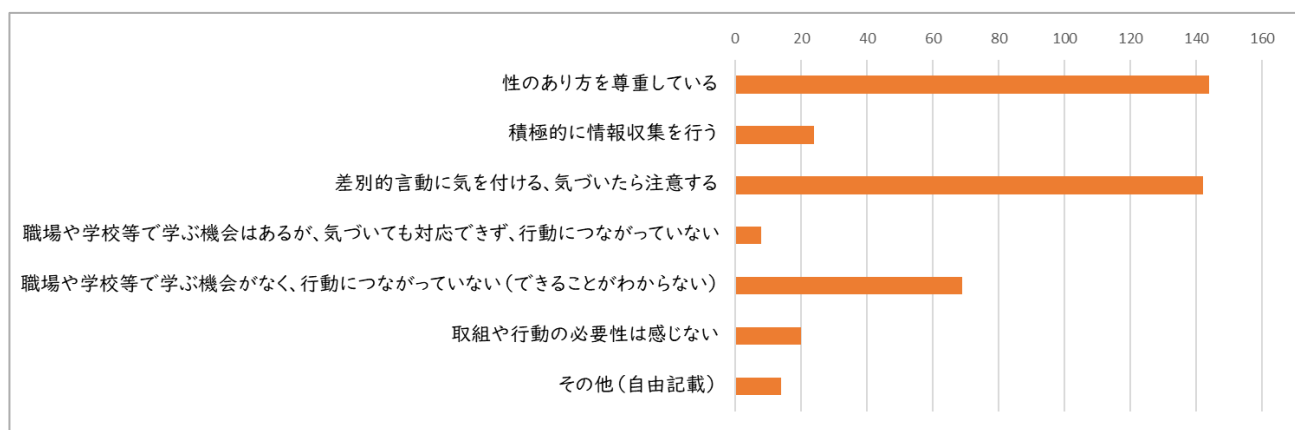
- ・私とは違う性の考えなので同調はできても理解するのは難しい。
- ・理解不足のためどうしても偏見がでてしまう。
- ・取った行動について後から周囲から色々言われたら嫌だから。

「取組や行動の必要性は感じない」の主な理由

- ・自分の周囲にその実例がないため。
- ・そもそも本人の問題なのでこちらからはどうすることも出来ない。
- ・人間として同じ社会に生きているので性的指向よりはその人の嫌なことをしないことを重要視している。ただマイノリティの感覚を知ったり取り入れたいと思う。それは個人の対話で十分だと考える。
- ・個々の個性として当たり前の事と捉えているので、特別な事とは思っていない。

「その他」の主な回答

- ・友人にトランスジェンダーがいますが、否定せずに人柄で友達付き合いしています。また女性同士でお付き合いしていた友人もあり、相手が気にする事などは言わない、聞かない様に気をつけていました。
- ・何か不都合が発生した時に対応すれば良いと思っている。
- ・自身が差別的言動や対応をしないように気をつけているが、気づいたら注意することはできていない。
- ・普通の事と捉えており、認める認めない等リアクションすることが要らないと思っている。



Q3.性的少数者(LGBT)の人権を理解するためには、県のどのような取組が効果的だと思いますか。(3つまで)

選択肢	全体
講演会や研修会	70
啓発イベント	89
広報誌を活用した啓発	61
冊子、パンフレット、掲示物（ポスターなど）	58
新聞、雑誌を活用した啓発	35
テレビ・ラジオを活用した啓発	70
インターネット（ホームページ）を活用した啓発	57
SNSを活用した啓発	109
交通広告（バスや電車内の車内広告など）	32
その他（自由記載）	19
特にない	31
わからない	15

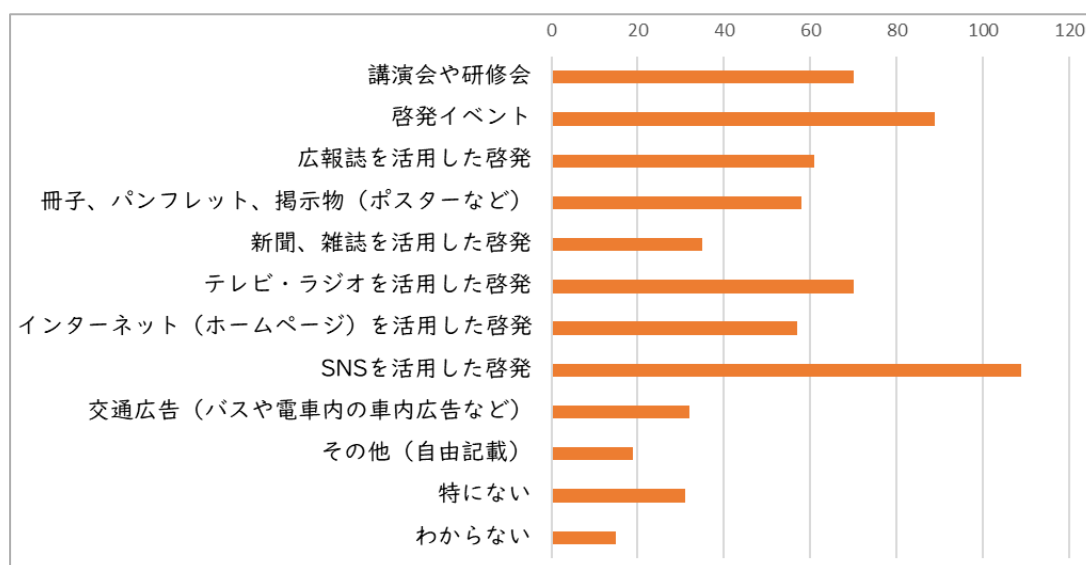
「その他」の主な回答

・多目的トイレの設置や利用促進など、性的少数者が生活しやすい環境の整備を行うことで、県民もそれを受容し、理解促進になるのではと思います。

・性的少数者がそれを望んでいるか分からないため。

・ドラマやアニメなどの題材で取り上げられると一気に認知と理解が進むと実感しました。

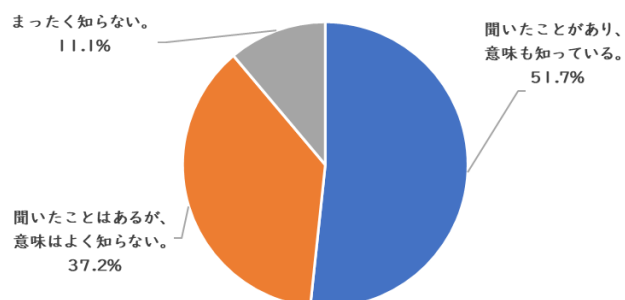
・LGBTに関して理解が進んでいる若い世代より、中高年等の世代にアプローチする取り組みが良いのではないのでしょうか。



◆パートナーシップ宣誓制度についてお尋ねします。

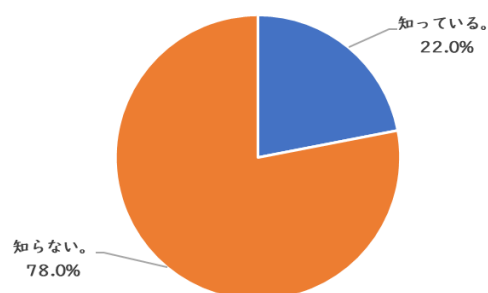
Q4.パートナーシップ宣誓制度という言葉聞いたことはありますか。また、意味は知っていますか。

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	153	51.7%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	110	37.2%
まったく知らない。	33	11.1%
合計	296	100.0%



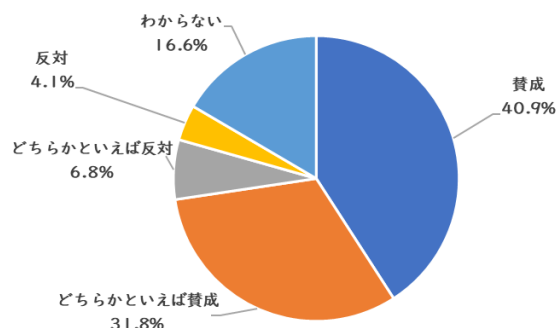
Q5.県がパートナーシップ宣誓制度の導入に向けて検討を進めていることを知っていますか。

選択肢	人数	構成比
知っている。	65	22.0%
知らない。	231	78.0%
合計	296	100.0%



Q6-1.県がパートナーシップ宣誓制度を導入することについてどのように考えますか。

選択肢	人数	構成比
賛成	121	40.9%
どちらかといえば賛成	94	31.8%
どちらかといえば反対	20	6.8%
反対	12	4.1%
わからない	49	16.6%
合計	296	100.0%



Q6-2.上記項目を選んだ理由をお聞かせください。(自由記載)

「賛成」を選択した主な理由

- ・性的少数者である二人が日常生活を送りやすくなれば良いと思うから。
- ・性的少数者であっても平等に行政サービスを受けることができるように県として取り組むべきであるから。
- ・希望する生き方は、人それぞれなので。今できることをされていると思うので反対する気持ちはない。
- ・もし自分が性的少数者に該当していた場合、このような制度があれば、いいなと思うため。また、制度を導入することで、性的少数者への理解が深まり、差別や偏見のない世の中になると思う。
- ・今は多様性の時代に変化してきているので、どの性別を持っていてもお互いを尊重し、恋愛感情を抱くことは自然な事だと思う。それぞれが、どの性別であれ一緒に人生を歩みたいと願うのであれば、実現できる社会であって欲しいと思う。

「どちらかといえば賛成」を選択した主な理由

- ・多様性が認められるから良いと思った。悩んで苦しんでいる人たちが少しでも減ったらいいなという気持ちもあります。
- ・その人たちは、決して悪いことをしている訳ではないので、私は、賛成。色んな人が互いを思いやって、住みやすい県を作って欲しい。
- ・パートナーシップ宣誓制度がない事で困っている県民がいて、パートナーシップ宣誓制度が導入されると困る県民がいないなら、導入しても良いと思います。
- ・まずは県民の理解が必要。

「どちらかといえば反対」を選択した主な理由

- ・差別されることがまだあると思うのでまだ浸透していないと思う。少人数の割合だし特に必要性を感じない。
- ・良いと思うけど、家族の形が多様化になりすぎて混乱しそうな気もするから。

「反対」を選択した主な理由

- ・気持ち的に LGBT を受け入れることは難しい。やはり男と女という概念が存在しているからこそ、子孫繁栄に繋がる。この点が失われるとますます人口減少に繋がる。
- ・法整備を待つなど県単位で進めるには時期尚早。

「わからない」を選択した主な理由

- ・身近にそうした方がいないため、導入した方がいいのか判断できないため。
- ・制度をよく理解していないため。
- ・パートナーシップ宣誓制度が普及することによって、ますます婚姻率が減少したり、人口問題につながったりすることが懸念されるから。
- ・自分がその人達ではないからよくわからない。
- ・賛成した方が良いとおもうが、踏み切りきれないでいる。
- ・パートナーシップ宣誓制度をする必要性自体がよくわからないため。
- ・色んな人がいる。当事者にならないと分からないし、だからと言ってその人達の主張を全て通すのも難しい。人として付き合うのは簡単だけど、制度がどうのこうのってなるとややこしい。